

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・アナログ放送の終了が近づくため、地上デジタル対応テレビの販売が伸びる。		
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・贈答品店ではここ数年マイナス傾向にあったが、下げ止まっている。客の動きが活発化してきたように感じるため、今後は購買意欲が高まり、来客数の増加につながる。		
		百貨店（営業企画担当）	・他業種からの競合店の出店が一段落していることや、今月の売上が良いため、3月以降も良くなる。		
		百貨店（販売担当）	・客には物やイベントに対する渴望感があるため、今後政情、気候、治安が安定、改善すれば、消費は加速度的に良くなる可能性がある。		
		百貨店（販売担当）	・4月の進学、就職からゴールデンウィークまでの時期には、それなりの売上増加が見込めるが、有名ブランドとそうでないブランドの間で差が出ると思われる。ブランド専門店での販売や新規導入ブランドの売上は、良くなりそうである。		
		スーパー（店長）	・客単価は、今後も前年同月比100%前後で推移する。1品単価の低迷は続くが、これまでの努力もあって買上点数は増加する。		
		スーパー（営業担当）	・株価や景気指標が良くなっていることもあり、消費者のマインドは改善してきている。来客数は前年を上回ってきているため、今後はやや良くなる。		
		コンビニ（店長）	・4月の統一地方選挙の需要と、大型公共事業の開始に伴う特需によって、今後はやや良くなる。		
		コンビニ（エリア担当）	・各数値はこの3か月間で順調に伸びており、ブランド戦略は軌道に乗っている。また、今年の戦略も明確になっており、今後も引き続き良くなる。		
		コンビニ（エリア担当）	・たばこ販売の回復により、売上全体の増加も当面継続する。		
		コンビニ（商品開発担当）	・たばこ販売の回復が続くことと、前年同期の売上が低温のために落ち込んだことの反動で、今後も急回復は望めないものの、やや良くなる。		
		衣料品専門店（販売企画担当）	・仕入れ先では生産量が増えている様子であり、今後はやや良くなる。		
		家電量販店（店員）	・アナログ放送の終了に向けて、今後は家庭の2、3台目のテレビの買い換えが進む。		
		乗用車販売店（従業員）	・新型車の投入により、市場は活性化する。		
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・製造業の景気が回復している。これまでの長期間、新商品の開発が控えられていたため、開発資金も豊富にあり、新商品の提案が増えている。新商品に対する客の反応は良く、生産が間に合わない商品も出ている。		
		観光型ホテル（販売担当）	・期末や新年度の歓送迎会を順調に受注しており、企業は今年には催事等を催行するようである。		
		住宅販売会社（従業員）	・補助金制度の活用により、改築の受注量が増えている。ただし、新築の受注量は増えていない。住宅版エコポイント制度の活用はほとんどないが、これまで建て替えを検討してきた客が、そろそろ購入しようとする動きが出てきている。		
		変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・客の様子から、今以上の来客数の伸びは期待できない。必要最低限の商品しか購入しない状況は、今後も続く。
				一般小売店〔酒類〕（経営者）	・外食が増える兆しがないため、飲食店からの需要は今後も変わらない。
一般小売店〔惣菜〕（店長）	・百貨店の客は比較的高所得の人が多く、その様子を見る限りでは、極端な節約志向は感じられない。しかし、年配客が多いため、先行き不安がある。				
百貨店（売場主任）	・節約疲れによる一時的な売上の伸びはあるものの、全体的には購買意欲はまだ低く、今後も変わらない。				
百貨店（企画担当）	・ここ数か月間売上は前年同月を上回っているが、1、2月はなんとか前年をクリアしているという状況にある。今後もしばらくは、この状況が続く。				
百貨店（経理担当）	・やや良くなる兆しもあるが、宝飾品、美術品等の高額商品はまだ不調であるため、今後も大きくは変わらない。				
百貨店（店長）	・衣料品の販売回復は、今後も見込めない。				
百貨店（販売担当）	・単価が低下しており、売上の増加には至っていないため、今後も変わらない。				
スーパー（経営者）	・季節は良くなるが、関係各社の取引状況は良くなっておらず、今後も現状維持が続く。				
スーパー（店長）	・小麦を始めとする原材料価格の高騰により、先行きが不安である。				

スーパー（店長）	・今月上旬に他社が新規出店し、商圏内の各店舗では安売りが増えている。客も安い商品を買回りしている様子であり、今後も厳しい状況が続く。														
スーパー（店員）	・中東情勢の不安定化に伴い、原油価格が先行き不透明である。売手、買手共に、今後何が値上げになるかと神経質になっている。今後の景気は、原油価格の動き次第である。														
スーパー（販売促進担当）	・現状では各数値が微増で推移しており、ばらつきもあるため、良くなってはいない。今後は、他社による大型店の出店や改装が控えており、楽観できない。														
コンビニ（エリア担当）	・客の消費意欲の高まりは感じられるが、他業種を含めて競争が激化している。														
コンビニ（エリア担当）	・たばこの値上がりの影響で、客単価は良い時期に戻りつつある。しかし、これは景気回復とは言えず、今後も現状維持が続く。														
コンビニ（店長）	・来客数に変化がない。特に週の前半は人通りが少なく、夜の来客数も減少している。今後もこの状態が続く。														
衣料品専門店（経営者）	・電話やダイレクトメールで客に対して販売促進しているが、反応は非常に薄く、今後も変わらない。														
乗用車販売店（従業員）	・4月から自賠責保険料が値上がりするのを受けて、4月以降の自動車購入を検討していた人が前倒しを検討する例が散見されるが、目標を大幅に上回ることにはできない。工場在庫数が安定してきていることは良い材料であるが、単価は下がってきているため、前年並みを確保するのがやっとである。今後もこのような状況で推移する。														
乗用車販売店（従業員）	・今春以降は新型車の投入が予定されており、客の関心を引き市場が少しでも活性化したらと思うが、「今は自動車購入どころではない。今乗っている車の調子がおかしくなったら購入を検討する」と話す客が多い。														
住関連専門店（営業担当）	・戸建住宅は持ち直してきているが、賃貸住宅や新築ビル工事は減少している。公共事業も先が見込めず、今後も現状が続く。														
高級レストラン（スタッフ）	・客は値引き、割引には反応してくるが、それ以外の仕掛けに対する反応は弱い。客の行動は引き続き慎重である。														
都市型ホテル（従業員）	・予約数に変化は見られない。														
都市型ホテル（支配人）	・現在は少しでも稼働率を上げることで精一杯であり、売上は安定していない。加えて、今後は光熱費、食材費等の仕入価格の高騰が懸念材料である。														
都市型ホテル（経理担当）	・ガソリン等の価格が上昇する可能性があり、今後の影響が懸念される。														
旅行代理店（従業員）	・今年も給料のベースアップが見込まれないため、景気が非常に良くなるとは思えない。ただし、定年旅行の予約数の増加により、やや上向き兆候も見られる。														
タクシー運転手	・食料品価格の高騰や政情不安から、財布のひもはより一層固くなり、タクシー利用客は引き続き減少する。														
テーマパーク（職員）	・物価上昇につながる情報が多く、景気は良くなりそうにない。														
設計事務所（職員）	・リーマンショック以前の水準には戻っていないが、世間は現在の景気に慣れてきている。しかし、建築業界はまだ厳しい状態にある。建築法規が日々変化し、パソコンを使えない高齢の建築士は、能力があっても対応できない状況にある。														
やや悪くなる	<table border="1"> <tr> <td>商店街（代表者）</td> <td>・商店街への来客数は目に見えて減っており、買物袋を下げる人もあまり見掛けない。また、客単価が急激に落ち込んでいる。今後も数か月間は、この傾向が続く。</td> </tr> <tr> <td>商店街（代表者）</td> <td>・年度末を過ぎると動きがなくなり、景気は悪化していく。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店〔自然食品〕（経営者）</td> <td>・明るい要素は見当たらない。新年度が始まるまでは、低い水準で推移する。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店〔食品〕（経営者）</td> <td>・商店街から撤退する店や家賃の値下げ交渉を始める店は、ここ数年は見られなかったが、このところ増加している。来客数も売上も良くない状況が続いており、デフレ傾向も続いている。それに加えて、今後は原材料価格の高騰により、経営が厳しくなることは目に見えている。景気は急激に悪化すると思われ、不安である。</td> </tr> <tr> <td>百貨店（経営企画担当）</td> <td>・原材料やガソリン等の価格上昇により、消費者マインドは悪化する。</td> </tr> <tr> <td>百貨店（販売担当）</td> <td>・3、4月は食品、ガソリン等の生活必需品の価格が上昇する様子であるため、客の財布のひもは固くなりそうである。特に宝飾品は厳しくなる。</td> </tr> <tr> <td>コンビニ（店長）</td> <td>・来客数や売上単価など、どの数字を見ても良くなる材料は見当たらない。</td> </tr> </table>	商店街（代表者）	・商店街への来客数は目に見えて減っており、買物袋を下げる人もあまり見掛けない。また、客単価が急激に落ち込んでいる。今後も数か月間は、この傾向が続く。	商店街（代表者）	・年度末を過ぎると動きがなくなり、景気は悪化していく。	一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・明るい要素は見当たらない。新年度が始まるまでは、低い水準で推移する。	一般小売店〔食品〕（経営者）	・商店街から撤退する店や家賃の値下げ交渉を始める店は、ここ数年は見られなかったが、このところ増加している。来客数も売上も良くない状況が続いており、デフレ傾向も続いている。それに加えて、今後は原材料価格の高騰により、経営が厳しくなることは目に見えている。景気は急激に悪化すると思われ、不安である。	百貨店（経営企画担当）	・原材料やガソリン等の価格上昇により、消費者マインドは悪化する。	百貨店（販売担当）	・3、4月は食品、ガソリン等の生活必需品の価格が上昇する様子であるため、客の財布のひもは固くなりそうである。特に宝飾品は厳しくなる。	コンビニ（店長）	・来客数や売上単価など、どの数字を見ても良くなる材料は見当たらない。
商店街（代表者）	・商店街への来客数は目に見えて減っており、買物袋を下げる人もあまり見掛けない。また、客単価が急激に落ち込んでいる。今後も数か月間は、この傾向が続く。														
商店街（代表者）	・年度末を過ぎると動きがなくなり、景気は悪化していく。														
一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・明るい要素は見当たらない。新年度が始まるまでは、低い水準で推移する。														
一般小売店〔食品〕（経営者）	・商店街から撤退する店や家賃の値下げ交渉を始める店は、ここ数年は見られなかったが、このところ増加している。来客数も売上も良くない状況が続いており、デフレ傾向も続いている。それに加えて、今後は原材料価格の高騰により、経営が厳しくなることは目に見えている。景気は急激に悪化すると思われ、不安である。														
百貨店（経営企画担当）	・原材料やガソリン等の価格上昇により、消費者マインドは悪化する。														
百貨店（販売担当）	・3、4月は食品、ガソリン等の生活必需品の価格が上昇する様子であるため、客の財布のひもは固くなりそうである。特に宝飾品は厳しくなる。														
コンビニ（店長）	・来客数や売上単価など、どの数字を見ても良くなる材料は見当たらない。														

		コンビニ（店長）	・ソフトドリンクの売上が減少している。特売中の商品は売れるが、定価販売の商品は売れないため、平均単価が低下している。このような状況は、今後も続く。
		家電量販店（店員）	・このところしばらくは回復傾向が見られたが、最近では中近東の政情不安や国内政治の混迷により、先行き不安になっている。
		観光型ホテル（経営者）	・3か月先の予約状況を見ると、前年同月を下回っている。昼食客数の落ち込みは特に顕著であり、前年同月比65%の月もある。その他の数字は、好調な月もあれば悪い月もあるという状況であり、景気が回復する兆しはまだ見えない。
		都市型ホテル（経営者）	・今後の景気動向について、上向くと話す客もいるが逆の客もあり、全体的にはまだ不安定、不透明な要素が多い。
		都市型ホテル（営業担当）	・これまでは、エコカー補助金の終了に伴う影響も小さく推移してきた。しかし今後は、中東の不安定化等に伴う石油や食品等の価格高騰によって、厳しくなる。
		テーマパーク（経営企画担当）	・物価の上昇や政治の不安定により、今後は厳しくなる。
		観光名所（案内係）	・食料品や原料の価格上昇が家計を更に圧迫することは、目に見えている。景気が良くなる見込みはなく、不安である。
		パチンコ店（経営者）	・単価の切り下げ競争になっており、今後は厳しくなる。
		設計事務所（経営者）	・この半年間、個人住宅には全く動きがなく、企業案件も規模が小さい仕事ばかりである。また、案件が実施設計の段階まで進むかどうか、不安なことも多い。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・新年度物件の見積が、ほとんどない。
		その他住宅〔住宅管理〕（従業員）	・子ども手当がどうなるのかという不安から、子育て世帯の買い控えや検討控えが目立っている。
	悪くなる	商店街（代表者）	・不安定な政局、中東の不安定化に伴う原油価格の上昇、国際的な食料品価格の高騰などにより、企業の投資や家計の消費は更に停滞する。
		一般小売店〔電気屋〕（経営者）	・家電エコポイント制度の終了により、特に液晶テレビの売上が前年を下回ったことは確実である。全体の売上も減少する。
		その他専門店〔貴金属〕（店長）	・貴金属を購入できる客、できない客がはっきりしている。購入できる客でさえ、予算が減少し始めている。消費者の購買意欲は、まだまだ見られない。
		一般レストラン（経営者）	・様々な業種の客がいるが、どの客も景気が良くなる兆しはないと話している。
		理美容室（経営者）	・客からは「仕事は増えてきたが、給料に反映されない」という話を聞いている。このままでは、景気は良くならない。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-	-
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・受注量、販売量共に、3～5%の伸びが見込まれる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・前年8月以降5か月間にわたり、住宅着工件数は7万戸を上回り、年間ベースでは前年比3%増の約8万1千戸となる見通しである。窯業界は住宅需要の影響が大きいので、今後はやや良くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新製品の発売を控えているため、今後は良くなる見込みである。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・設備投資が増加し始めており、外注業者との取引も増加している。今後はやや良くなる。
		建設業（経営者）	・中東の政情不安が懸念されるが、全体としては景気は回復に向かっている。
		輸送業（エリア担当）	・同業他社の状態が非常に悪いので、荷物が流れてきている面もあるが、全体的にも多くなっていると思われる。
	変わらない	化学工業（企画担当）	・中東、北アフリカでの政情悪化に伴う原油価格の高騰や、食料、原材料の価格高騰など、不安材料が出てきている。しかし、このところの堅調さを変化させるような影響はない。
		化学工業（人事担当）	・少し前までは今後は次第に良くなると判断していたが、このところの中東、北アフリカの政情悪化により、先行きは少し不透明になってきている。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・受注数量はまだ増加傾向にあり、今後もしばらくは好調が続くであろう。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・引き合い量は増えているが、価格競争が厳しい。円高もあり、利益はほとんど出ない状態が今後も続く。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新年度に入り、新規案件が出ると思われるが、大きな変動は見込めない。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・中東、北アフリカの政情不安や欧州の金融不安など、不確定要素が多い。今の状態がいつまで続くか、わからない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・中国市場に激変がなければ、国内市場、欧米市場共に、非常にゆっくりとした回復基調は変わらない。

	建設業（営業担当）	・現状では薄利多売や多少のリスクを覚悟しての営業などで努力しているが、今後受注が増加するかどうかは分からない。
	輸送業（エリア担当）	・貨物の動きは活発化しているが、原油価格の高騰が輸送費用を増やし、水を差す。
	輸送業（エリア担当）	・セメントの小型運搬等は動き出しているが、その他には目に見えて良くなる情報は聞こえてこない。
	輸送業（エリア担当）	・年度末に向けての、販売拡大の動きがない。そのため、今後景気が上向くことは考えられない。
	金融業（法人営業担当）	・今後、生産は増加すると見込んでいる。ただし、米国の金融緩和による資金流入と中東、北アフリカ情勢の混迷を背景として原油価格が高騰しており、原材料価格の高騰と共に、企業収益を悪化させる懸念が高まっている。
	金融業（企画担当）	・自動車業界を中心に売上、利益の回復が見られるが、給与等の回復は見られておらず、個人消費が回復する見込みは小さい。個人消費の回復が見られない限り、景気は良くなっていかない。
	広告代理店（制作担当）	・新年度に入っても、広告数量や価格を抑えられることはわかっている。良くはならない。
	会計事務所（職員）	・生活用品、食料品などで、割安商品が出回っている。そのため、販売業者、生産業者は今後も薄利を強いられ、業績の改善は難しい。
	会計事務所（社会保険労務士）	・顧問先企業では、仕事量は少しずつ増えてきているようである。しかし、利益に繋がる仕事は少なく、とりえず仕事を受けているという状態が続いている。
	その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	・現時点では、動きは感じられない。引き合い件数は少なく、受注した案件も少量で短期の仕事ばかりである。
やや悪くなる	食料品製造業（企画担当）	・小麦粉、砂糖、原油を始めとした原材料価格の高騰によって、今後は商品価格への転嫁が始まる。それによって、販売量は減少する。価格転嫁できない場合は、企業収益の悪化が予想される。
	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・自動車製造業関連は、現地生産を拡大させ、国内生産は減少傾向にある。そのため、梱包資材の需要も伸びない。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・取引先企業の中には、4月以降の広告予算を減額させる動きがある。30～50%の予算削減をする企業が多い様子である。
	印刷業（営業担当）	・3か月先の景気が良くなる材料は、全く見られない。依然として底が見えない状況にある。今後も更に悪化するのではないかと不安である。
	化学工業（総務担当）	・原油価格の上昇が見込まれるため、今後は厳しくなる。
	金属製品製造業（従業員）	・今後も販売価格が回復するとは思えない。その一方で、鉄鋼関係の値上がりも、この先のコスト上昇要因になるのではないかと心配である。
	電気機械器具製造業（経営者）	・4月から原材料価格が相当に値上がりするが、販売価格に転嫁できるか不安である。また、輸出商品は円高の影響も受ける。以上により、若干悪くなる見込みである。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・新年度上期の完成車メーカーの生産台数は、減少する見込みである。原油高の影響もあり、厳しい状況になる。
	輸送業（経営者）	・今後はトラックの燃料である軽油価格の高騰が見込まれる。しかし、運賃の値上げ交渉どころか、更なる値下げ要求が続くそうである。
	輸送業（従業員）	・中東の政情不安が続くと原油価格の高騰が長期化し、石油製品も値上がりし、景気は停滞する。輸入食品や原材料の高騰が、更に景気を悪化させる懸念もある。
	不動産業（管理担当）	・原油価格の高騰が続けば、不動産市場では価格が下落することが見込まれる。
	公認会計士	・円高が変わらないことに加えて、政策、株価、金利や欧米経済の先行きも不透明である。
悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・今後は原材料価格の高騰もあり、客の購買意欲は低下する。また、製造業の海外移転が進んでしまっており、国内需要が増える要素はない。
	金属製品製造業（経営者）	・年度末以降の引き合い件数が減少している。
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	人材派遣会社（経営企画）	・取引先企業からの技術者派遣需要は、今後も徐々に増え続ける。
	人材派遣会社（社員）	・派遣社員を直雇用する動きや正社員を採用する動きが活発化しており、今後はやや良くなる。
	人材派遣会社（支店長）	・派遣社員から業務委託へと移行する動きが活発化しているが、派遣業界も業務委託へとシフトするため、業績は回復する見込みである。

	求人情報誌製作会社 (企画担当)	・地元の基幹産業である製造業が回復し始めており、今後は間接的に波及することが見込まれる。	
	職業安定所(所長)	・企業の求人意欲はやや高まってきており、求人数の増加傾向は今後も続く。求職者数は、引き続き微減で推移する見込みである。	
	職業安定所(職員)	・正社員の求人数は、前年同月比で増加傾向が続いている。雇用にはやや勢いが出てきている。	
	職業安定所(職員)	・前年秋以降、求職者数は減少傾向にあり、求人数は増加傾向にある。全体として良い傾向にあり、今後もやや良くなる。	
	職業安定所(職員)	・大企業の求人数は増加していないが、従業員数100名以下の企業の求人数は、ここ数か月間徐々に増えている。雇用は相当な回復傾向にある。	
	職業安定所(職員)	・今後、原油高等による影響がなければ、求人数の増加傾向はもうしばらく続く。徐々にではあるが、良くなる方向に向かう。	
	民間職業紹介機関(支社長)	・今までの求人数の推移を見ると、景気は上昇局面に入っている。東海地域の企業に今後の採用見込みを聞いても、増やすとの回答が多い。	
	民間職業紹介機関(営業担当)	・企業の人員削減は一段落しており、今後は社員の退職に伴う採用案件が徐々に増えてくる。	
変わらない	人材派遣会社(経営者)	・求人の動きは、ほとんどない。企業の話では、賃下げ、ボーナスカット、退職勧奨が依然として発生しており、この状況は今後も続く。	
	人材派遣会社(営業担当)	・新年度の見通しは、まだ立っていない。	
	人材派遣会社(営業担当)	・採用者数に大きな変化はないため、今後も変わらない。	
	アウトソーシング企業(エリア担当)	・大きな動きは見られず、今後も変わらない。	
	新聞社[求人広告](営業担当)	・年度末から新年度にかけて、求人数が増える兆しは感じられない。	
	新聞社[求人広告](営業担当)	・先行き不透明であるため、求人予算は増える傾向にない。特に中小企業では、先行きに不安を抱えている。また、製造業は海外に生産拠点を移すなどしており、当地域の景気回復は見込めない状況にある。	
	職業安定所(職員)	・全体として求人数は増加傾向にあるが、業種によっては厳しい状況にある。事業所の縮小や閉鎖する企業の情報も入ってきている。	
	職業安定所(職員)	・世界情勢や経済の先行き不安から、企業は雇用を増やせる見通しが立っていない。企業は手探り状態のなかで、設備投資、雇用や経費の節減を行っている状況にあり、今後改善するとは考えにくい。	
	学校[大学](就職担当)	・一部の企業には採用を増やす動きが見られるが、全体的には確実な動きはなく、雇用面での明るさはまだ感じられない。	
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-